学校番号 C2101　桃谷(通)　　令和2年度 保健体育科

科目名 ：	体育３	単位数 ： 2 単位	必要スクーリング出席回数： 10 回
使用教科書 ：高等学校 改訂版 保健体育 （第一学習社）			
学習書 ・副読本 ：：最新スポーツルール２０２０ （大修館書店）			

	年間総数	１範囲	２範囲	３範囲
レポート [R]	4 枚	2 枚	1 枚	1 枚
スクーリング [S]	20 回	8 回	6 回	6 回
テスト [T]	1 回	×	×	○
その他 （課題・実習等）	テストが合格点に達しない場合は再テストを実施			

1 担当者からのメッセージ（学習方法等アドバイス）

・レポートは空欄があると再提出となります。すべて記入したうえ、各レポートの提出期日を目安に早めの提出を心がけましょう。
・学校指定の体操服はありません。各自でジャージやTシャツ、体育館用とグラウンド用のシューズなどを準備し、スクーリングの開始時間に遅れないよう、運動できる服装に着替えて活動場所に集合しよう。
・急な体調不良等による「見学」での出席は認められません。長期にわたり運動を制限されている場合は、事前に担当者に相談してください。

2 学習の到達目標

・実技を通して、集団で運動する楽しさや体を動かすことの喜びを感じる。
・自分自身の健康や体力の状態を意識し、安全に楽しく運動するために協力する姿勢を身につける。
・レポート学習を通して、生涯スポーツの意義や役割を理解するとともに、ライフステージに応じたスポーツの楽しみ方等について考える。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b ：思考・判断	c ：運動の技能	d ：知識・理解
観点の趣旨	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全に留意しながら学習に主体的に取り組もうとする。 人と協力しながら運動を楽しむ姿勢を身につける。	知識を活用し、技能の向上につなげる。 仲間と運動を楽しむためにどうすればよいかを考え、工夫する。	記録や技能の向上に挑戦する。 仲間と連携・協力して各種目を楽しむ。	ライフステージに応じたスポーツの楽しみ方を考える。 スポーツ振興のための施策を知り、生涯スポーツの実現に向けた取り組みについて理解する。
評価方法	・観察，出席状況（スクーリング） ・記述の点検（レポート）	・観察（スクーリング） ・記述の点検（レポート） ・定期考査	・観察，出席状況（スクーリング）	・観察（スクーリング） ・記述の点検（レポート） ・定期考査

・年度末に５段階で評価する。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
1範囲	体育理論 球技	体育理論 生活の中のスポーツ 男子 球技：ネット型 バレーボール 女子 球技：ネット型 テニス	○	○	○	○	a:人と協力しながら運動を楽しむ姿勢がみられる。 b:ルール等を理解し、簡易ゲームでのプレイにいかそうとしている。 c:ラケット操作を身につけ、バウンドするボールに対応できる。 d:レポート作成を通して各ライフステージに応じたスポーツの楽しみ方の特徴をを知る。	・スクーリング ・レポート
2範囲	体育理論 球技	体育理論 スポーツライフの実践 男子 球技：ネット型 テニス 球技：ゴール型 バスケットボール 女子 球技：ネット型 ソフトバレー 球技：ゴール型 サッカー	○	○	○	○	a:運動技能の向上に関心を持って取り組むことができる。 b:ルール等を理解し、簡易ゲームでのプレイにいかす。 c:ラケット操作を身につけ、バウンドするボールに対応できる。それぞれで使用するボールの特性を理解し、ボールの扱いに習熟する。 d:レポート作成を通して生涯スポーツの意義や役割を理解する。	・スクーリング ・レポート
3範囲	体育理論 球技	体育理論 スポーツ振興と 自然環境 男子 球技：ゴール型 サッカー 球技：ネット型 バドミントン 女子 球技：ネット型 バドミントン 球技：ベースボール型 ソフトボール	○	○	○	○	a:人と協力しながら運動を楽しむ姿勢がみられる。 b:ルール等を理解し、簡易ゲームでのプレイにいかす。 c:それぞれで使用するボールの特性を理解し、ボールや道具の扱いに習熟する。 d:レポート作成を通してスポーツ振興施策を知り、生涯スポーツを実現するための取り組みについて理解する。	・スクーリング ・レポート ・定期考査

※ 表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断
　　c：運動の技能　　d：知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。